

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

三重県 明和町

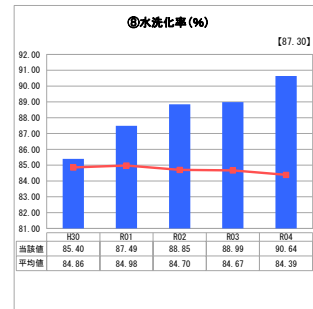
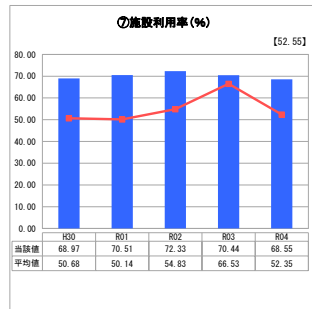
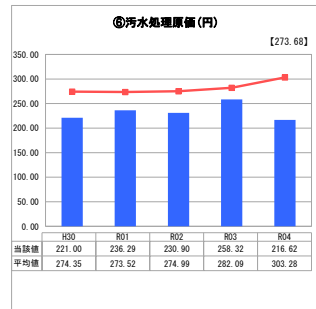
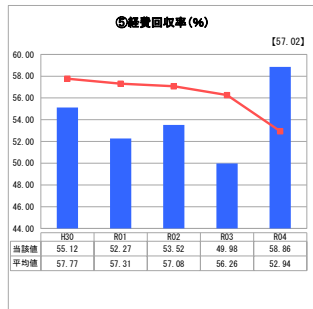
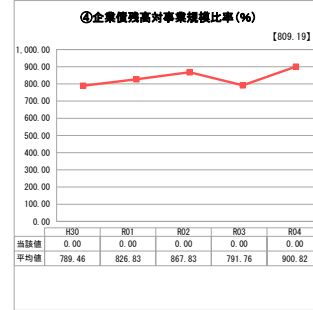
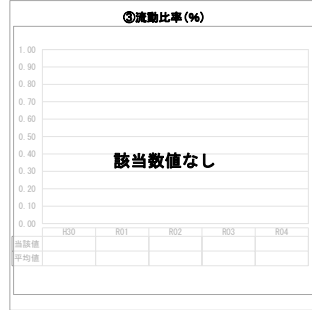
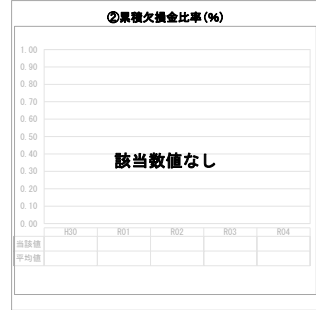
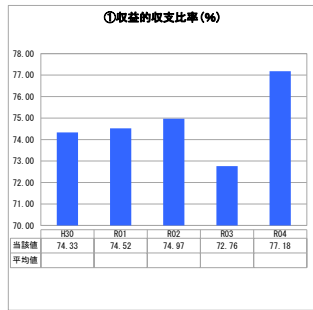
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり要経費(円)
-	該当数値なし	16.54	100.00	3,300

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
22,910	41.06	557.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,781	1.29	2,931.01

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

【収益的収支比率】  
H30年度からR03年度の収益的収支比率については、ほぼ同様の数値であり、単年度収支は赤字となっており、R04年度については、前年度と比較して5%増で改善しているように見えるが、これは本事業がR05年度より公営企業法の適用をするためにR04年度決算については打ち切り決算処理を行っているためである。微増の主な要因としては、保有する処理場の年間保守委託料等がR04年度決算の総費用に含まれていないことが挙げられる。

【経費回収率】  
例年50%程度を超えている程度であり、使用料では汚水処理に係る経費を賄っていない状態である。農業集落排水事業では類似団体の平均値においても、同じような数値の推移となっていることから、当町が特別悪い状態に陥っているわけではない。しかし、経営改善に向けて汚水処理費や使用料の見直しを速やかに検討する必要がある。なお、R04年度の増加分については、前述と同様に打ち切り決算処理の影響で汚水処理費が減少しているためである。

【汚水処理原価】  
公共下水道事業と比較して処理区域が分散していることや処理場施設の老朽化のため汚水処理原価が高くなっているが、類似団体の平均値を下回っている形で安定をしている。処理場の維持管理費の削減の検討や未接続世帯への接続啓発を継続的に進めているが、大きな効果は表れていない。なお、R04年度の減少分については、前述と同様に打ち切り決算処理の影響で汚水処理費が減少しているためである。

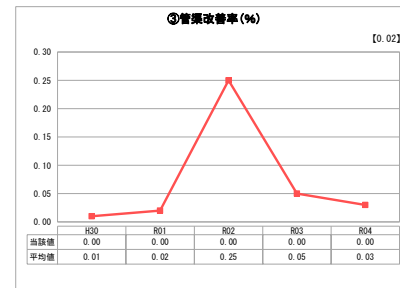
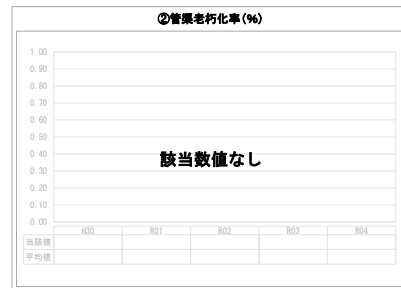
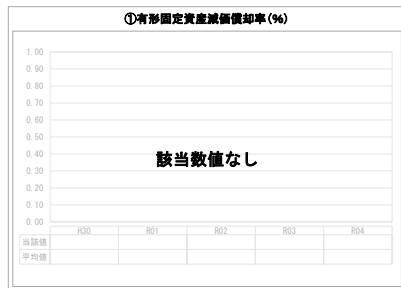
【施設利用率】  
前年と同様に類似団体の平均値を上回る形となった。施設の利用状況やスペックにおいては、現状おむね適正であるといえる。

【水洗化率】  
供給開始後、徐々に水洗化率は上昇しており、ここ数年の上昇は緩やかなものとなっているが増加している傾向である。

### 2. 老朽化の状況について

当該事業の該当区域の下御糸北処理区、上御糸・下御糸処理区については、最適化整備構想を策定し、今後の修繕・更新の計画を定めている。

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

農業集落排水事業は2つの処理場で運営しているため、維持管理における経費の削減が改善に向けて重要な課題となっている。また、未接続世帯への接続依頼や未納料金の徴収といった使用料徴収の拡大の取り組みも継続して行う必要がある。抜本的な対策として、使用料見直しの検討等を行い、経営改善に向けたアクションを行う必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。